

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 慢性膵炎に対する外科治療に関する検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 外科 職位・氏名 准教授 浅井 浩司

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院外科では、慢性膵炎の外科治療の有効性と、内視鏡治療と比較した場合の長期予後の有益性を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、慢性膵炎患者さんに対する適切な治療方針の選択につながると考えております。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター(大橋病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。対象者:2008年4月～2023年5月までに東邦大学医療センター大橋病院において、慢性膵炎に対して外科治療を行った方42例を対象としています。長期予後に関する評価では同期間に内視鏡的治療を行った患者さん161例と比較を行います。

方法: 診療録から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

主要評価項目:慢性膵炎外科治療に関する周術期安全性(術後合併症)の評価(外科治療のみ)

副次評価項目:慢性膵炎外科治療に関する長期予後の評価(外科治療群と内視鏡治療単独群の比較)

解析を目的に以下の項目を評価します。

- ・患者因子:年齢、性別、併存疾患、アルコール摂取状況、身長、体重、BMI、病悩期間、
内科治療期間(内視鏡的膵管ステント留置期間)、ESWL 施行の有無、など
- ・局所因子:膵管拡張径、膵石存在部位、門脈閉塞・側副血行路増生の有無、など
- ・周術期因子:出血量、手術時間、術中輸血量、術後合併症、術後在院期間、術死、など
- ・長期予後因子(術後3年間):除痛率、除痛期間、体重増加率、栄養状態評価、疼痛再燃率、社会復帰率、など

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 外科

研究代表医師: 浅井 浩司 役職: 准教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下

記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。
また、本研究の対象者に術後に死亡した患者さん、認知機能が低下した患者さんに関しては
代諾者(家族の方)からの参加拒否に関しても受け入れております。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 外科
職位・氏名 准教授 浅井 浩司
電話 03-3468-1251 内線 7176